

第15 交通安全活動

第16 交通規制と交通安全施設

第17 交通指導取締り

第18 交通事故事件捜査

第19 運転免許

第15 交通安全活動

1 四季の交通安全県民運動

交通事故をなくす福岡県県民運動本部の主唱により、県警をはじめとした県下60自治体及び135実施機関・団体が交通安全県民運動を実施した。

(1) 春の交通安全県民運動

ア 運動の期間

令和3年4月6日（火）から同月15日（木）までの10日間

イ 運動の重点

- (ア) 子供と高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
- (イ) 自転車の安全利用の推進
- (ウ) 歩行者等の保護を始めとする安全運転意識の向上
- (エ) 飲酒運転等の危険運転の防止

ウ 主な活動

- 交通事故死ゼロを目指す日（4月10日）における街頭活動
- 県下一斉通学路取締り（4月9日）

エ 期間中の交通事故発生状況（数値は集計時の概数）

区分	地区等	合計	地区別				高速道路等 (※)
			福岡	北九州	筑豊	筑後	
発生件数（件）		623	314	164	58	83	4
	前年比	+165	+102	+32	+24	+10	-3
死者数（人）		3	0	1	1	1	0
	前年比	±0	-1	±0	±0	+1	±0

(※) 高速道路等とは、高速道路交通警察隊が管轄する道路をいう。

(2) 夏の交通安全県民運動

ア 運動の期間

令和3年7月10日（土）から同月19日（月）までの10日間

イ 運動の重点

- (ア) 飲酒運転等の危険運転の防止
- (イ) 子供と高齢者の交通事故防止～横断歩道マナーアップ運動の推進～
- (ウ) 自転車の安全利用の推進

ウ 主な活動

- 県下一斉通学路取締り（7月13日）

エ 期間中の交通事故発生状況（数値は集計時の概数）

区分	地区等	合計	地区別				高速道路等 (※)
			福岡	北九州	筑豊	筑後	
発生件数（件）		511	239	143	58	66	5
	前年比	-125	-59	-34	-5	-21	-6
死者数（人）		4	1	1	0	2	0
	前年比	±0	±0	±0	±0	+1	-1

(※) 高速道路等とは、高速道路交通警察隊が管轄する道路をいう。

第15 交通安全活動

(3) 秋の交通安全県民運動

ア 運動の期間

令和3年9月21日(火)から同月30日(木)までの10日間

イ 運動の重点

- (ア) 子供と高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
- (イ) 夕暮れ時と夜間の事故防止と歩行者等の保護など安全運転意識の向上
- (ウ) 自転車の安全確保と交通ルール遵守の徹底
- (エ) 飲酒運転の撲滅と悪質・危険な運転の防止

ウ 主な活動

- 交通事故死ゼロを目指す日(9月30日)における街頭活動
- 全国一斉通学路取締り(9月30日)

エ 期間中の交通事故発生状況(数値は集計時の概数)

区分	地区等	合計	地区別				高速道路等 (※)
			福岡	北九州	筑豊	筑後	
発生件数(件)		549	265	148	57	76	3
	前年比	-75	-34	-11	+4	-28	-6
死者数(人)		0	0	0	0	0	0
	前年比	-3	-1	±0	±0	-2	±0

(※) 高速道路等とは、高速道路交通警察隊が管轄する道路をいう。

(4) 年末の交通安全県民運動

ア 運動の期間

令和3年12月11日(土)から同月31日(金)までの21日間

イ 運動の重点

- (ア) 飲酒運転の撲滅と悪質・危険な運転の防止
- (イ) 子供と高齢者の交通事故防止
- (ウ) 自転車の安全利用の推進

ウ 主な活動

- 県下一斉通学路取締り(12月21日)

エ 期間中の交通事故発生状況(数値は集計時の概数)

区分	地区等	合計	地区別				高速道路等 (※)
			福岡	北九州	筑豊	筑後	
発生件数(件)		1,301	643	305	107	220	26
	前年比	-76	-39	-55	-4	+15	+7
死者数(人)		4	1	3	0	0	0
	前年比	-3	-2	+1	-1	-1	±0

(※) 高速道路等とは、高速道路交通警察隊が管轄する道路をいう。

第15 交通安全活動

2 関係機関・団体が実施する交通安全活動への支援

交通関係団体が実施する無事故運動の支援を行うことによって、企業の自主、積極的な交通安全活動を促進するとともに、傘下従業員の交通安全意識の高揚を図った。

また、交通事故をなくす福岡県県民運動本部では、県民の高齢者に対する交通安全意識を高めるため、高齢者の交通安全対策の推進に功労のあった市区町村を表彰する「シルバーセーフティコンクール（高齢者無事故運動）」を実施していることから、これに対する支援を行うなど、高齢者の交通事故防止対策の強化を図った。

運動名・期間	表彰種別と表彰数		実施内容
令和2年福岡県トラック協会無事故運動 (主催 福岡県トラック協会) 自 R2.1.1 至 R2.12.31 (366日間)	本部長表彰	10	○安全（運行）管理体制の強化 ○顧客の輸送の安全確保 ○プロドライバーの交通安全意識の向上 ○事業主の社会的責任の明確化
	交通部長表彰	10	
第38回バス年末年始無事故運動 (主催 福岡県バス協会) 自 R2.12.1 至 R3.1.31 (62日間)	本部長表彰	2	
	交通部長表彰	2	
第65回ハイヤー・タクシー年末年始交通事故防止活動 (主催 福岡県タクシー協会) 自 R2.12.1 至 R3.1.31 (62日間)	本部長表彰	4	
	交通部長表彰（無事故）	4	
	交通部長表彰（施策優秀）	8	
	警察署長表彰	36	
福岡県安全運転管理協議会 第39回交通事故防止コンクール 自 R2.12.1 至 R3.1.31 (62日間)	本部長・安管協会長	11	○安全運転管理者選任事業所従業員の交通安全意識の高揚 ○安全運転管理体制の確立
	連名表彰		
	交通部長・安管協会長 連名表彰	29	
令和2年度シルバーセーフティコンクール (高齢者交通事故防止への取組) 自 R2.4.1 至 R3.3.31 (365日間)	交通事故をなくす福岡県 県民運動本部長賞	12	○市区町村参加による高齢者の交通事故防止を目的として実施

第15 交通安全活動

3 交通安全教育

(1) 対象別実施状況

区分	対象別			高校生	大学生等	高齢者	その他	合計
	幼児	小学生	中学生					
実施回数(回)	374	1,159	131	97	45	1,676	1,257	4,739
対象者数(人)	26,469	86,857	24,796	26,234	5,629	23,981	42,424	236,390

(2) 実施内容

ア 子どもに対する交通安全教育

子どもに対しては、道路を安全に通行するために必要な基本的な知識の習得や「横断の仕方」に重点を置いた参加・体験・実践型の交通安全教育を行った。

また、学校、家庭内における「交通安全アドバイス集」等を活用した日常的かつ恒常的な交通安全教育を促進するなど自らの安全を守るための交通行動の定着化に向けた取組を推進した。

イ 学生等に対する自転車安全教育

交通安全アドバイス集等を活用した自主的な安全教育の実施を促すとともに、主として学生の自転車利用者に対しては、交通安全教室において「自転車の正しい(安全な)乗り方」を実技を交えて指導し、年齢に応じた参加、体験、実践型の自転車安全教育を行った。

また、高校生の二輪車運転者に対しては、実技を交えた二輪車交通安全教室を開催し、二輪車の安全利用を図った。

区分	自転車教育(全対象)	二輪車教育(高校生)
実施回数(回)	951	11
対象者数(人)	91,823	1,176

ウ 高齢者に対する交通安全教育

高齢者が加齢に伴う身体機能の変化を自覚した上で、安全な交通行動の実践や継続的な安全運転ができるよう、歩行者シミュレーター等を活用した歩行者対策や、自動車学校等と連携したドライビングスクールや危険予測トレーニングを取り入れた運転者対策などの、参加・体験・実践型の交通安全教育を行った。

また、明るい服装及び反射材の継続的な着用促進に向けた広報啓発活動、補償運転の奨励、交通安全講習の受講機会の少ない高齢者や頻回事故歴者に対する自宅訪問などによる交通安全指導等を行った。

区分	シルバードライビングスクール
実施回数(回)	23
対象者数(人)	440

第15 交通安全活動

4 青少年の交通事故防止対策の推進

(1) 大学生の交通事故防止懇話会

大学生の交通事故を防止するため、平成9年1月、県内40大学に働きかけ「大学生の交通事故防止懇話会」が発足し、年2回学生を指導する学生部と警察関係者による大学生の交通事故防止に関する意見交換を行うなどして、青少年の交通事故防止対策を推進しているものであるが、令和3年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。

○ 令和3年の実施状況（例年、年2回開催）

中止	北支部（西南女学院大学 他複数大学）
中止	南支部（筑紫女学園大学 他複数大学）

5 表彰

永年にわたり地域の交通安全に功労のあった者や安全運転に努めた優良運転者に対し、次のとおり各種の表彰を行った。

(1) 交通栄誉章（警察庁長官と全日本交通安全協会長との連名表彰）及び管区表彰（管区警察局長と九州交通安全協会長との連名表彰）

表彰種別	交通栄誉章緑十字			管 区 表 彰	合 計
	金章	銀章	銅章		
受賞者数等	5人	24人	85人	82人 6事業所	196人 6事業所

※ 緑十字銅章は、全日本交通安全協会長の単独表彰である。

(2) 福岡県警察本部長と福岡県交通安全協会長との連名表彰

表彰種別	交通安全功労者	優良安全管理者	優良運転者	優良事業者	交通安全優良団体	交通安全優良学校	優良交通安全協会	合 計
受賞者数等	22人	4人	72人	3事業所	4団体	4校	2協会	98人 13事業所等

(3) 交通事故をなくす福岡県県民運動本部長表彰

表彰種別	交通安全功労者・団体	優良運転者	シルバーセーフティコンクール	交通安全推進市区町村	合 計
受賞者数等	20人 2団体	15人	12団体	11市区町	35人 25市区町等

第15 交通安全活動

6 企業における安全運転管理の推進状況

(1) 安全運転管理者等選任事業所数の年別推移

年別	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
安全運転管理者数 (事業者数)	13,705	13,775	13,898	13,950	14,063	14,217	14,259	14,279	14,290	14,792
副安全運転管理者数	2,552	2,583	2,678	2,725	2,776	2,866	2,929	2,999	3,053	3,122
計	16,257	16,358	16,576	16,675	16,839	17,083	17,188	17,278	17,343	17,914

(2) 安全運転管理者等の実態

区分	使用の本拠数	安全運転 管理者数	副安全運転 管理者数	使用自動車 台数	専従運転者数
令和3年度末現在	14,792	14,792	3,122	194,982	312,541
令和2年度末現在	14,290	14,290	3,053	189,580	254,694
前年比	+502	+502	+69	+5,402	+57,847
増減率	+3.5%	+3.5%	+2.3%	+2.8%	+22.7%

(3) 安全運転管理者等選任事業所の交通事故（令和3年中）

ア 発生状況

	発生件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)
全事故	20,066	101	25,587
前年比	-1,429	+10	-1,988
安全運転管理者等選任事業所	737	9	930
前年比	+14	+7	+3
対全事故比率	3.7%	8.9%	3.6%

イ 通行目的別発生状況

	発生件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)
業務中の交通事故	460	3	592
前年比	+8	+2	-11
通勤中の交通事故	277	6	338
前年比	+6	+5	+14
計	737	9	930
前年比	+14	+7	+3

ウ 違反別発生状況

	発生件数 (565件)									
	0	100	200	300	400	500	600	700	800	
信号無視	16									2.8%
最高速度違反	0									0.0%
歩行者妨害等	4									0.7%
徐行場所違反	6									1.1%
交差点安全進行義務違反	22									3.9%
優先通行妨害等	10									1.8%
一時不停止等	4									0.7%
右左折違反	6									1.1%
通行区分	1									0.2%
安全運転義務違反	488									86.4%
その他の違反	8									1.4%

(4) 令和3年度安全運転管理者等講習（法定）実施状況

区分	実施回数	講習対象者	受講者	受講率
安全運転管理者等講習	80	17,207	16,876	98.1%